

# 孝 宇津貫みどりの会 瓣97号

宇津貫みどりの会 連絡先 城所幸子 TEL/FAX 042-636-2466



新しい年を迎えて、昨年来の邪気が収まることを年頭にお祈りをしました。

昨年は賛助企業の保全活動は日本水産(株)一社のみが実施されました。恒例の昼食を兼ねた交流会はなく、人数も12名とかなり少なくなりました。晩秋の里山の花は、リンドウ、ハチオウジアザミ、ヤクシソウと少なかったのですが、ヤマノイモやノササゲなどの実が鮮やかな色どりをみせてくれました。作業は下草刈りが2班、階段の修理が1班で密にならないよう工夫して行いました。集合写真もマスク着用で撮影し、コロナ収束の折には笑えるような写真となりました。

私たちの活動は粛々と年間を通じて山の手入れをすることに変わりはありません。山に入ると世間の喧騒から離れ、ひたすら作業に打ち込むことができます。仲間と汗を流し、四季折々の草花に出会う喜びは掛け替えのないものです。小さな喜びですが、日常の生活の中でも見つけて心豊かにに過ごしたいものです。

宇津貫みどりの会 城所幸子

### 会員募集中!

宇津貫みどりの会に参加して、里山の保全に汗を流してみませんか。月 3、4回山の手入れを行っています。自然観察や健康増進に如何です か。とても楽しい会ですよ!!

ご連絡は、城所 042-636-2466まで

#### 当会のホームページのアドレスです。

http://utsunukimidori.je-yasu.com/

HPのQRコード



会報の QRコード



## ふる里「美濃国」の思い出





## 中山道 加納宿

## 十万石 加納城址

私のふる里は、美濃国・岐阜市加納です。江戸時代の城下町でもあり中山道53番目の宿場・加納宿です。和傘の最大の産地でもありました。

加納城の初代城主は家康の娘婿・奥平信昌、当時の美濃奉行は大久保長安(1603年~1615年)でした。長安はこれよりまえ、八王子宿のまちづくりをしています。小学生のころ、天気の良い日には加納の町のあちこちで和傘が天日干しされ、その風景は庭一面に色とりどりの花が咲き開くかのようでした。

私の実家の境内からは、北に岐阜城、西に伊吹山が見渡せます。寺には2本のイチョウの木があり、落葉や実の掃除が大変でした。水分が多いため燃やすことができず、腐葉土にもできず、穴を掘って埋めるしかありませんでした。また、銀杏を食べすぎて体調を崩したことを思い出します。神社・仏閣にイチョウの木が植えられる理由は、火災から建築物を守るためともいわれています。「火事になると水が噴出する」という説もあります。

中学1年のとき、金華山(稲葉山)の頂上に岐阜城(稲葉山城)が再建され、学校でも話題になり「斎藤道三」の名を知りました。織田信長は、城と町の名を「岐阜」と改めました。関ケ原の戦あと、家康の命で廃城になり、代って加納城が築城されました。

昭和34年、死者5000人を超える被害をもたらした伊勢湾台風に遭遇しました。夜9時頃停電、雨戸が吹き飛ばされない様畳を立てて防いだことを覚えています。境内の樹木はほとんど倒れ、イチョウの木2本のみ無事でした。





岐阜城 金華山 長良川

薬草の宝庫 伊吹山

昭和37年、薬用植物採集に伊吹山に行きました。伊吹山は古来、薬草の宝庫として知られ、信長が山中に薬草園を開いています。

「イブキもぐさ」はイブキョモギの葉の裏にある絨毛を精製したもので灸に使用します。 鎌倉、室町時代、僧侶の鍼灸医術者が多く生まれ、今日この流れを続けるお灸寺が日 本各所に残っています。

尚、同じ仲間のミブヨモギの蕾は抽出精製し、戦後まもない時期に、ほとんどの人が服用の経験がある回虫駆除薬として使用されました。

薬草園の先生引率のもと、参加者約20名で薬草の標本づくりのため、胴乱を肩にかけ標高1377mの伊吹山に登りました。キャラバンシューズを履いている人は少なく、目的地まで時間がかかりました。目標となる貴重な薬草を発見しても、数が少なく植物採集というより、宝探しのようでした。各人、予定していた種類、数量ともに達せず、泣く泣く下山しました。

標本づくりには、種類、数量とも少ないため5名で再度伊吹山に行きました。 引率の先生がいないため、植物図鑑と分布図を見ながらの採集になり、悪戦苦闘。前回 より成果が上がりませんでした。山小屋で休憩時、当時発売まもないインスタントラーメ ンが美味しかったのと、眼下の琵琶湖が美しかったのが思い出されます。 以来、胴乱を使用することはありませんでした。現在、里山作業をする中で、山野草の 名前を教えてもらっていますが、いっこうに覚えられません。

昭和41年、就職のため、ふる里岐阜をはなれることになりました。京都を皮切りに各地 転勤、定年退職後、武蔵国・八王子市七国に住み16年になります。風にそよぐ木々の 音、鳥のさえずり、ホタルの乱舞、ダイヤモンド富士、等々。この様な自然豊かな、みなみ 野の街に感謝しつつ、里山作業に参加できればと思っています。

河野忍泰

## これまでの主な活動 2020年4月~12月



4月~12月 この間、有志の参加で山の作業をつづけました。新型コロナ感染を 考慮して、ミーティングでは戸外でマスクを着用。作業中は極力互 いの距離をとるよう努めました。



10月11日 9月に入り、新型コロナ禍が少し落ち着いてきました。 おかげで、エコひろば主催による「市民自然体験講座」を実施する ことができました。



日本水産株式会社担当者の熱心さもあって、年一度の保全活動を 行いました。世情から、午前中だけの短縮活動ではありましたが、 継続することができました。



年末恒例の注連縄づくりです。来年こそは良い年になるよう祈りながら、一つひとつの動作に思いを込めながら、各自りっぱな注連縄に仕上げました。



#### 【編集後記】

新型コロナ感染対策として、昨年4月7日、非常事態宣言が発せられました。これを受け、私たちの会でも今後の活動をどうするかを、理事を中心にメールで話し合いました。結論として、あくまでも有志による活動に限定することにしました。おかげで、会からは一人の感染者も出すことなく、新年を迎えることができました。今年こそ何の不安もない年になるよう祈っています。